

# 勇氣

R6.4.12 発行  
校長：種吉 信二

## 令和6年度がスタート

先日実施した始業式で2・3年生の生徒に話した校長あいさつの一部をご紹介します。

先日の終業式で、「カエルの登山」という話をしました。おぼえていますか？

今日は「半分のせんべい」というお話をします。

「お腹をすかせたある男が、お菓子屋さんで7枚のせんべいを買った。さっそく男は家に戻って、せんべいを食べはじめた。1枚食べ終わったが、お腹はふくれぬい。2枚目を食べるが、まだお腹がふくれぬい。3枚目、4枚目、5枚目、6枚目と男は次々とせんべいを食べた。

残ったせんべいは1枚だ。あと1枚しかないの、残ったせんべいを二つに割って食べることにした。すると、今度はお腹がいっぱいになった。その男は残った半分のせんべいを持ちながら、悔しそうに言った。

『俺はなんと馬鹿なんだ。半分のせんべいでお腹がいっぱいになるんだったら、前の6枚は食べなくてもよかった』

この話を聞いてどんな感想を持ちましたか。半分のせんべいを食べたからお腹がいっぱいになったのではなく、それまで6枚のせんべいを食べていたから残りの半分でお腹がいっぱいになったことに気づかないとは、自分でもいうように馬鹿な男です。

似たような話に「1.01と0.99の法則」があります。1.01は1よりもわずかに大きい。0.99は1よりもわずかに小さい。その差はわずか0.02です。このわずかな差が積み重なると大きな差となります。それぞれの数字を365乗する（365回かける）とどうなると思いますか。1は何回かけても1にしかありませんよね。しかし、1.01を365回かけると37.78になります。0.99を365回かけると0.026にしかありません。365とは1年間の日数です。毎日1%ずつ多く努力を続ければ大きな成果を得られ、1%ずつ手抜きをすれば1年間でこんなに大きな差が生じるというのです。

昨年度末に長中の学びについて生徒アンケートを実施しました。その結果を先日すべての先生方で共有して今年度の方向性を協議しました。

「自分には良いところがあると思う」や「自分でやると決めたことは、やり遂げようとしている」「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」などほとんどの質問項目で肯定的な回答の割合が増加していました。これは、起業体験学習や単元内自由進度学習などに主体的に取り組んできた成果ではないかと考えました。

一方、「家では、自分で計画を立てて勉強している」の肯定的な回答は61%にとどまり、学校では学習に主体的に取り組んでいる生徒が多い反面、学んだことを生きて働く知識とするための努力が少し足りないことが課題としてとらえました。SNSやゲームの誘惑に負けてしまい、今、しなければならないことをおろそかにしまっている生徒の姿が浮かび上がってきます。

このようなことを踏まえて、長崎中のすべての先生方で今年の目標を考えました。その結果、令和6年度の目標を引き続き「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する生徒」としました。これまでも取り組んできた、「自律」「調整」「創造」の伸長に焦点を当てた取り組みを継続して行うこととします。各教科の授業で生徒主体の学びを実現すること、誰かの挑戦を冷やかすのではなく、支え合えることができるような集団作りを支援していきます。

このように生徒の皆さんが、勇氣をもって将来の夢やあこがれの実現に向けて、さらに主体的に学校や家庭での生活を送ることができるよう先生方も勇氣と覚悟を持って取組を進めていきます。そこで、今年度の合言葉を「勇氣」としました。生徒の皆さんも時には困難にぶつかったりつまづいたりすることもあると思いますが、その時は自分が成長するチャンスだと信じ、困難なことから逃げるのではなく、挑戦を楽しむくらいであってほしいと願います。

先日お知らせしたとおり、この春の人事異動で新たに6名の新転入の職員を加え、27名のスタッフで生徒のより良い成長を支援してまいります。お子様のことや学校のことわからないことなどがあれば、各学年の先生を通じてお尋ねください。一年間どうぞよろしくお願い致します。

## 4月の主な行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
10	火	身体測定	19	金	3年県学力尿検査
12	金	生徒会入会式 歓迎遠足	21	日	家庭の日
15	月	育成会理事会	22	火	避難訓練
16	火	2・3年学力診断	24	水	3年内科検診
18	木	3年全国学力 2年県学力 1年市学力	30	火	授業参観 学年育成会 育成会総会

※基本的に毎週水曜日は、部活動は休みです。  
※本校HPにも行事予定表を掲載しています。

※4月6日（土）～15日（月）は春の全国交通安全運動が実施されています。交通ルールを守り、交通事故ゼロをめざしましょう